令和6年度 社会科 第3学年 年間指導計画

月	時数	単元名 (小単元名)	ねらい	評価規準			学習指導要領
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
4	4	第一次世界大戦と民族独立の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気づかせるとともに、日本の参戦、ロシア革命なども取りあげて、世界の動きと日本との関連をふまえて、大戦がその後の国際情勢および日本に大きな影響を及ぼしたことに気づかせる。 ・国際連盟の成立、中国や朝鮮、インドにおける民族運動の高まり、軍縮条約の締結を取り上げ、日本がどのように対応したかを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きをもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の動きと日本の関係に着目して、第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦前後の国際情勢について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	歴史C (1) ア(オ) イ
4	4	高まるデモクラシーの意識	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の政治的自覚が高まり、本格的な政党内閣による政党政治が展開したこと、普通選挙制が実現したこと、米騒動をはじめ、労働運動、農民運動、社会主義運動などの社会運動が幅広く行われるようになったこと、女性の社会的進出が進んだことなどに気づかせる。 ・大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化、新聞・雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを取り上げ、文化の大衆化が進んだことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の動きとわが国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	歴史C (1) ア(カ) イ
4 ・ 5	8	戦争に向かう世論	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取りあげ、政党政治が行きづまりをみせ、軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと、国際連盟を脱退した日本がドイツと日独防共協定を結んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと、中国との戦争が長期化した経緯を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し 	歴史C (1) ア(カ) イ

				過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ようとしている。	
5	8	第二次世界大戦の惨禍	<ul style="list-style-type: none"> 日本がドイツ、イタリアと三国同盟を結び、アメリカ、イギリス、そして終戦直前に参戦したソビエト連邦などとの大戦になったこと、日本が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、日本の国民も大きな戦禍を受けたことなどから、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づかせる。 戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて、身近な地域の事例を取り上げ、平和な生活を築くことの大切さに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	歴史C(1)ア(カ)イ
5	3	敗戦から立ち直る日本	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の混乱のなかで、国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に、男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められ、国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し、現代の日本の骨組みが形成されたことに気づかせる。 日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。 戦後の混乱や生活のようす、国民の努力について、身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。 冷戦について、国際連合の発足、米ソ両陣営の対立、アジア諸国の独立、朝鮮戦争、その後の平和共存の動きなどを、日本の動きと関連させながら理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民主化と再建の過程、冷戦などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸改革の展開と国際社会の変化に着目して、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかかわりについて考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	歴史C(2)アイ

5	5	世界の多極化と日本の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。 ・日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。 ・沖縄返還、日中国交正常化などを取りあげ、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長、国際社会とのかかわりなどをもとに、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の経済の発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	
6	8	これからの日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・世界規模での米ソ両陣営の対立が終わったことやその影響に気づかせ、冷戦終結後の国際協調の平和外交の推進や開発途上国への援助などもふかえ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解させるとともに、公民的分野の学習に向けた課題意識をもたせる。 ・冷戦終結後も国際社会には、民族や宗教をめぐる対立、国家を超えた地域統合、地球環境問題とその取り組み、資源やエネルギーをめぐる課題、日本と近隣諸国との間の領土をめぐる問題、日本人拉致問題など、主権や人権、平和などさまざまな課題が存在していること、それらを解決するためのさまざまな人々の努力が重ねられていることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふまえて、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 	歴史 C (2) ア イ
6	3	現代社会の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の社会では情報化、グローバル化、少子高齢化など変化がみられることを理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化、グローバル化、少子高齢化に関する事象を身近なところから見つけ、主体的に問題解決しようしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に 	公民 A (1) ア(ア) イ

							生かそうとしている。	
7	3	私たちの生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の伝統や文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ることを通して、その意義や影響を理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の伝統や文化について、自分の体験や身近な事例と結びつけて生活とのかかわりを考え、文化の継承と創造に積極的にかかわろうとしている。 	公民A(1)アイ	
7	5	現代社会をとらえる枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ・社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	公民A(2)アイ	

8 ・ 9	6	民主主義と 日本国憲法	・小学校社会科の学習との円滑な接続を図り，法に基づく政治の大切さについて，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現させる。	・法の意義と法に基づく政治の大切さ，日本国憲法の原則，天皇の地位と国事行為について理解し，その知識を身に付けている。	・民主的な社会生活にかかわる様々な事象から学習課題を見だし，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。	・民主的な社会生活にかかわる様々な事象をもとに，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	公 民 C (1) ア イ
9	1 1	基本的人権 の尊重	・基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解させるとともに，日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について，多面的・多角的に考察し，表現させる。	・基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解し，その知識を身に付けている。	・基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と法との関連について，個人の尊重の視点から多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・人間の尊重についての考え方を踏まえて，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	公 民 C (1) ア イ
9	3	法の支配を 支えるしく み	・我が国では日本国憲法が最高法規であり，日本国憲法に基づく政治によって，国民の自由と権利が守られていることを理解させる。	・収集した資料の中から，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての学習に役立つ情報を適切に選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。	・日本国憲法が国の統治について規定していることについて，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。	公 民 C (1) ア (ウ)(エ) イ
9	4	民主政治と 私たち	・個人を尊重し，基本的人権を守る政治を実現するためには，公正な世論の形成や選挙など，国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。	・国民の政治参加や国民の意思を政治に十分に反映させるしくみについての資料を適切に調べまとめている。	・議会制民主主義を守り，発展させるための関わり方を選択・判断して，適切に表現している。	・議会制民主主義が我が国の政治の原則であることに着目して，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	公 民 C (2) ア (ア)(イ)(ウ) イ

9	7	国の政治のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所の国民主権を守るための役割と課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の政治のしくみについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。 	公民C (2) ア (ア)(イ)(ウ) イ
10	6	地方自治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の基本的な考え方について理解し、地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方自治体の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体の政治と政治参加に関する課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事例から地方自治体の政治に対する関心を高め、民主政治の基本的な考え方とそれに基づく地方公共団体の政治のしくみについて、意欲的に追究している。 	公民C (2) ア(エ) イ
10	4	私たちの生活と経済	<ul style="list-style-type: none"> 身近な消費活動を中心に、経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動や市場経済の意義について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動や市場経済の意義について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を解決しようとしている。 	公民B (1) ア(イ) イ
10・11	4	消費者と経済	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解させるとともに、消費者の保護など消費者をめぐる問題について、政府の取り組みなどを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを自らの消費生活に生かそうとしている。 	公民B (1) ア(イ) イ

1 1	8	企業と経済	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の生産や金融のしくみや働きを理解させるとともに、経済を活発にしていくための企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義および労働基準法の内容と関連づけて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の生産活動や金融に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の生産活動や金融にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の生産活動や金融に関する諸問題について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 	公 民 B (1) ア (ウ)(エ) イ
1 1 ・ 1 2	5	これからの日本経済	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代日本の特色」についての学習と関連付けながら、グローバル化の進行により、日本経済が世界経済の影響を強く受けていることを理解させるとともに、これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済における世界経済の影響に関する資料を、さまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の発展のためにこれからの日本企業に求められることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が進行する中、日本経済の発展について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 	公 民 B (1) ア イ
1 2	7	財政	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 ・市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	公 民 B (2) ア イ

1	8	紛争のない世界へ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協調のあり方や国際機構の役割について理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、課題を見だし、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい国際協調のあり方を考えようとしている。 	公民D (1) ア(ア) イ
2	5	貧困解消と環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困、地球環境、資源・エネルギーなどの地球規模の社会課題に対して、その現状と背景を理解し、解決のために求められる国際協調について、多面的・多角的に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題、日本の対応について理解し、その知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止に対する国際社会とわが国の取り組みに関心をもち、自分たちが協力できることを考えようとしている。 	公民D (1) ア(イ) イ

2	1 1	課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究する活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述させる。 ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・「持続可能な社会」の実現に向けて，私たちはどのように行動すべきかを考える。 ・身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目させ，世界的な視野と地域的な視点に立って探究させる。社会科のまとめとして位置づけ，適切かつ十分な授業時数を配当する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	公 民 D (2) ア イ
---	--------	-------	--	--	--	---	---------------------------